

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会
「WG4 力学特性(仮称;変形・強度) 第2回 議事録」

日時	平成 19 年 7 月 5 日(木) 10:30 ~ 12:00		場所	名古屋国際会議場	
グループリーダー	龍岡文夫		幹事	畠山 正則	
幹事	仙頭 紀明		幹事	上原真一	×
メンバー	阿部廣史		メンバー	梅崎健夫	
メンバー	大島昭彦		メンバー	岡田哲実	×
メンバー	小高猛司		メンバー	佐野郁雄	
メンバー	渋谷 啓		メンバー	清水正喜	
メンバー	高橋 学	×	メンバー	土田 孝	
メンバー	永瀬英生		メンバー	早野公敏	
メンバー	山下 聡		メンバー	山田真一	
メンバー	吉嶺充俊		追加メンバー	西村友良	
追加メンバー	福田文彦		追加メンバー	田中洋輔	

:出席 ×:欠席

配布資料:

- 資料- WG4-2-1 前回 WG4 グループ会 議事録
- 資料- WG4-2-2 WG4 が担当する規格・基準と担当候補一覧(2007/07/05)
- 資料- WG4-2-3 改訂赤本のページ算定のための資料
- 資料- WG4-2-4 現行の赤本目次 -抜粋-
- 資料- WG4-2-5 解説執筆メンバーの推薦

議 事:

1. 前回議事録確認
2. 規格・基準の見直し案
3. 解説執筆メンバーの推薦等
4. その他

議事録:

1. 前回議事録確認
 - 議事録は確認された。
2. 活動趣旨説明および解説執筆メンバーの推薦等
(一軸試験)
 - 規格を改訂する。具体的には試験終了条件の「圧縮力が最大値の 2/3 程度に減少するか」の「程度」をとることと引用規格番号の誤りを修正する。
 - 解説執筆メンバーは軟弱土については渡部要一氏((独)港湾空港技術研究所)と地盤改良関連で田中洋輔氏(東亜建設工業)を追加する。

(三軸試験)

- 基準は改訂しない。追加執筆メンバーは現在選定中である。

(不飽和三軸)

- 基準は改訂しないが、他の基準との整合をとるために用語を変更する可能性がある(例:側方向応力)。この変更について通常の改訂手続きが必要かどうかについて幹事より親委員会の見解を求める。
- 解説執筆は阿部委員と西村友良氏(足利工大)で担当する。

(粗粒土)

- 基準は改訂しない。
- 解説執筆メンバーは追加しない。

(ねじり・繰返しせん断試験)

- 基準は改訂しない。
- 解説執筆メンバーに黄永男氏(基礎地盤コンサルタンツ)、福田文彦氏(北海道大)、中田幸男氏(山口大)、古関潤一氏(東京大)を追加する。
- 乱さない砂質土試料の試料作成・設置に関する解説は、黄氏ならびに三軸試験の追加メンバー(実務担当者)が担当する。凍結サンプリング試料に関しては、必要があれば畑中宗憲氏(千葉工大)に東京ソイルリサーチの実務担当者を紹介いただく。

(一面せん断)

- 基準は改訂しない。
- 解説執筆メンバーに鈴木耕司氏(東亜建設工業)、古谷保氏((独)農村工学研究所)を追加する。

(基準化されていないせん断試験)

- 「基準化されていないせん断試験」は試験法に対してあまり使われていないとの否定的なイメージを与える可能性があるので、他の編の呼び方も参考にして積極的な印象となるような章のタイトルを引き続き考える。
- 試験装置と試験方法が大筋で同じであると分類される場合は第3章～第7章の対応する試験法の解説に記述し、それ以外の試験法を第8章に記述してはどうかとの提案があり了承された。
- 平面ひずみ試験(現行赤本 8.2.1)、三主応力制御試験(8.2.2)は第8章で取り扱う。三主応力制御試験は名工大のどなたかに解説執筆を打診する(担当:小高委員)。平面ひずみ試験は山田委員が担当する。
- 低圧三軸試験(8.2.3)・高圧三軸試験(8.2.4)・応力制御三軸試験(8.2.5)は第3章の三軸試験で解説する。
- 小型一軸・三軸試験について議論があった。個別の試験方法として第8章では扱わず、対応する試験法(第2章,第3章)の中で寸法効果の影響として解説する。
- 基準化されていない静的直接型せん断試験(8.3)は第8章に記述する。単純せん断試験(8.3.1)の解説は大島委員,リングせん断試験(8.3.2)・室内ベーンせん断試験(8.3.3)の解説は梅崎委員が担当する。
- 基準化されていない繰返し試験(8.4)の中のせん断過程が基準以外の繰返し非排水繰返し試験法(8.4.1(1)～(3))は第6章の繰返し非排水三軸試験で解説する。

- 繰返し一面せん断試験(8.4.2(1))は第4章の一面せん断試験で解説する。
- 繰返しねじりせん断試験方法(8.4.2(2))は第8章で解説し、担当は吉嶺委員とする。
- 繰返し単純せん断試験方法(8.4.2(3))について方針は未決定である。
- ベンダーエレメント法(8.4.3(1))は第8章で解説し、担当は山下委員とする。
- 共振法(8.4.3(2))は第8章とする。内容は現行どおりであると思われる。なお内容は龍岡グループ長が確認する。
- その他の方法(8.4.3(3))について方針は未決定である。
- 畠山幹事長と龍岡グループ長が第8章の解説執筆原稿を確認する。

(岩 目次 第9章～14章)

- 基準は改訂しない。解説については内容を充実させる方向で作業を進める。解説執筆者の追加に関して現在検討中である。

3. その他

- 本WG担当の執筆目標ページ数について議論した。詳細なページ数の積算は現段階では難しいものの、現状からできるだけページ数を増やさないことを方針とすることが確認された。

文責 仙頭紀明